

蚊成虫・幼虫調査用機具

商品名	使用用途	型式	動力	重量	対象	使用方法
CDCミニチュアライトトラップ  生きたまま捕集できる 電池式なので設置場所を選びやすい	CO2トラップ法	ファン式吸引捕集	単一電池4本	0.7kg	蚊成虫	新聞紙に包んだドライアイスを保冷容器に入れ、トラップの上あるいは脇につらし、翌日捕獲された成虫を回収する。 地上1.6～1.8mの位置になるように、樹陰に吊るす。 木に吊るすことができない場合は、三脚などを利用する。 月明かり、街灯や庭園灯の光の影響をうけないようにする。 建築物から1m以上遠ざける。 捕獲された蚊を逃がさないようにするために、電池の残り消費量に注意する。また、回収が終わってから電源を切る。
BG-センチネルトラップ  主にヤブカを捕獲対象に設計	CO2トラップ法	ファン式吸引捕集	12Vバッテリー	1.7kg	蚊成虫	新聞紙に包んだドライアイスを保冷容器に入れ、トラップの中に置く。 誘引剤を取り付ける。 上部50cmの範囲に何も無い茂みの付近に設置する。 直射日光の当たらないようにする。 翌日捕獲された成虫を回収する。
蚊の生息調査キット  幼虫と成虫の調査ができる内容物	すくい取り法 人囃法	幼虫捕集用 ひしゃく 白バット ストレーナー スポイト ピペット ピンセット 洗浄瓶 遠沈管 絶縁テープ 油性ペン コンテナ 成虫捕集用 捕虫網 吸虫管 捕集容器	人力	—	蚊幼虫 (ボウフラ)	表層すくいとり法：ひしゃくを約45度の角度でゆっくり沈めながら、水面を漂う幼虫や蛹をすくいとる。 完全水没法：ひしゃくを幼虫脇から迅速に下方に沈め、中に入った幼虫や蛹とともに迅速に引き上げる。 浮遊物の付近や隅に潜む幼虫をすくい取るようにするとよい。 浅い水たまりはストレーナーですくい取る。 口の小さな水溜りはスポイトで吸い取る。 幼虫は白トレーで選別して、遠沈管に入れて持ち帰る。 蚊の潜んでいそうな場所に8分間立ち、蚊が飛来してきたところを網で捕獲する。 網を振った後は、捕獲した蚊が逃げないように口を閉じておく。 吸虫管で網から捕集容器に移しかえる。